



特別支援教育

支援員の3名増を実現
美里小にも通級教室が設置!

通常学級で学ぶ子ども達をサポートする支援員さん(特別支援教育補助者)が不足しており、昨年9月議会で増員を要望し、R8年4月から3名増員が決定。

また、同時に要望していた、LDやADHD等の子ども達が学ぶ通級教室が美里小にも新たに設置されました。

引き続き、特別支援を必要とする子ども達の環境改善を働きかけていきます。

不登校の児童生徒の支援充実を

沖縄市の小中学校では、毎年600名以上の子ども達が不登校となっています。クラスには通えないが少人数の別室なら通えるという子も多く、別室の役割は非常に重要です。ところが、別室に週2~3日しか先生(登校支援員)がいない学校も。また、勤務時間が早く早めに子ども達を下校させざるを得ない、という事態が生まれています。

公教育での子ども達の学びを保障するため、先生を週5日、6校時終了まで配置するよう訴えています。

市の非正規職員も 駐車料金の負担軽減決定

県の人事委員会勧告に沿った市の条例改正案について、駐車料手当は正規職員だけでなく非正規職員(会計年度任用職員)も対象とするよう議会で求めました。総務部長は、「(任用職員も)正職員と同様に支給していきたい」と答弁しました。

中学生も! 給食費無償化を

2026年4月から国と沖縄市が動き、小学生の給食費無償化が実現。

一方、うるま、糸満、浦添などでは小中無償化がスタート!物価高の今こそ、中学生も無償化の実現を訴えています。同時に栄養と安全性確保を要望。(財源はあります。詳しくは議会映像をチェック。)



0・1・2歳保育料の負担軽減 保育士の待遇改善(認可外も含む)

保育料の負担軽減について質問。兄弟姉妹の数え方が所得によって違うため、数え方を統一するよう提案。市は「国や他市町村の動向を注視したい」という答弁にとどまりました。段階的にでも負担軽減が図られるよう引き続き求めていきます。

また、保育士の離職防止のため、保育士の待遇改善について要望しました。

登川市営住宅の修繕と 住民への配慮

車いす利用者の一人暮らしの方から相談がありました。

段差の修繕を役所と指定管理者に二度依頼したが、対応がなく困っているため、すみやかな対応を求めました。

また、老朽化した登川団地の住民の意向調査方法について質問し、建設部長は「障がい者や高齢者の回答方法につきまして、最大限に配慮し調査して参ります」と答弁しました。

引き続き、一人暮らしの方や生活のサポートを必要とする方の切実な声を行政に届けてまいります!

子どもの居場所 児童館を美里にも!

昨年、北美小隣りに児童館オープン。

美里小学校区での必要性について質問しました。

市は「美里小学校区の児童館整備について(中略)できるだけ早期に整備ができるよう進めていきたい」と答弁。

引き続き早期実現を訴えています。

(R7年6月議会)

全ての子に
居場所を



子はまちの宝

一緒につくろう!

子ども達を支える人が
大切にされる沖縄市を

私は長女の小学校入学を機に給食費負担軽減の署名活動を始め、4,000人以上の声を届けてきました。

2025年に沖縄市議会議員となり、はじめてのことばかりで戸惑うこともありましたが、こうして活動を続けられるのも周りや地域の皆様のおかげです。いつもありがとうございます。

これまで議会では、特別支援教育の充実、学童の待機児童、登校支援、保育士支援、ドリフト騒音問題、松本の洪水被災など、市民の切実な声を取り上げてきました。

小学生の給食費無償化が実現したことは一歩前進ですが、課題はまだ山積しています。

特に痛感しているのは、子どもたちが生き生きと過ごすためには、周囲の大人が子どもと向き合う心の余裕を持てる環境が必要だということです。保護者や教育・保育現場などの多くが、目の前の子ども達のために精神的・経済的に限界に近い状態で奮闘しています。

今こそ、子ども達を支える大人を社会全体で支える仕組みが不可欠です。私はその仕組みづくりのために声を上げ続けます。いっしょに、よりよい沖縄市を作っていきます!

高江洲みどり

